

発行 社会福祉法人 聖友ホーム
 聖友学園（児童養護施設）
 〒166 杉並区阿佐谷北3-28-19
 ☎3338-1844 FAX3338-1894

いーちっこー



（題字 りんりん 4才）

7月7日 たなばた

目次 ● “子ども達のからだがおかしい”（東原中学校長 青木尚次）…………… 2
 ● ふわふわー ・ある日のできごと ・詩「ほっぺがぼおっ」他…………… 4
 ● このゆびとまれー 感謝しています ボランティアの皆さん…………… 6
 ● おみせやさんー 三井精肉店…………… 7
 ● e t c…………… 8

子ども達のからだがおかしい

杉並区立東原中学校長

青木尚次

「気になること」

子ども達の様子を見ておりますといろいろ気になることがあります。例をあげますと、●ゆとりのない生活（つねに時間に追われている感じ、忙しそう、疲れている）

●勝手な言動（自分中心の考え方、他を思いやる気持ちに欠ける）●栄養の偏り（不規則な食生活、間食やインスタント食品による簡単な食事）●言葉の乱れ（マスコミの影響が大きい）●若さのないからだ（健康診断の結果、いろいろな病名がつく子ども増加）。

この例は、すべての子ども達がそうであるというわけではありません。明るく健康的な若さ、純粋で思いやりのある優しさ、さわやかさを持って生活している子ども達もたくさんおります。ただ、その一方で何かおかし、気になる子ども達の存在を見逃すわけにはいきません。ここでは、私が最も気になっている「からだの健康」について問題提起をしたいと思います。

「子ども達のからだがおかしい」

学校保健統計調査は、最近のわが国の子ども達のからだの問題について次のように報告しております。

まず、第一に新生児や乳児の生存率は最高水準であること。第二に子どものからの疾病・異常については、う歯の被患率、裸眼視力の低下は増加しているが他は健康であること。第三に発育・発達の面では、男女とも体格は大きくなり、体型は下肢が長くなっている。ただ、男子の体重の増加が異常で不自然であること。第四に体力や運動能力の発達については、体力は高い水準にあるが運動能力は低下している。

この報告からすれば、子ども達のからだの問題はさほど気にすることもなく、健康なからだと体力が高い水準にあるわけですから心配がないように思われます。ところが十数年前から学校現場で「いままでもこんな子はいなかったのに」というような「からだのおかしさ」を訴える子どもが目立ち

始めました。

病気や異常とは言えないが、さりとて正常とも言えない現象が日々見受けられ保健室を訪れる子どもが増えています。

「健康教育の推進を」

健康で、心豊かにたくましく生きる人間を育てることがいま、学校教育に強く求められています。それは二十一世紀に生きる子ども達が幸せであってほしいと思うすべての人々の願いでもあります。ところが前述致しましたように、心身の不調を訴える子どもが近ごろ増加しております。

●何を訴えるにも、すぐ疲れを訴える。●安全に身を処す能力が低い。●頭痛・腹痛・





変わる。●アレルギー体質や喘息
 歪湾曲・肥満体・高血圧・糖尿
 病など、科学的に数多く指摘
 されます。科学技術の進歩は、私達
 豊かなものにしてくれました
 「からだのおかしさ」という
 音定するわけにはいきません。
 芸術の変化や文化の変容は、人間
 を大きく変え、子ども達の成長
 にも大きな影響を与えております。た
 んど、どんなに変わっても未来に生きる
 心身ともに健康で、たくましく

生きていく力をつけてやらなければなりま
 せん。それは、大人の責任であり、努め
 もあります。

学校教育の中で計画的に継続的にきたえ
 ていくことは当然のことではありますが、い
 ま早急に各家庭で心がけてほしいこと、実
 行し継続してほしいことは次の三点です。

一つは、毎日の生活のリズムです。早寝
 早起きを基本とした規律ある生活が大切で
 す。夜ふかしや朝寝坊は、さわやかな目覚
 めにはなりません。学校で居眠りをしてい
 るようでは頭やからだを鍛えることはでき
 ません。

二つは、正しい食生活です。栄養のバラ
 ンスと規則正しい食事は、成長期の子ども
 達に絶対必要な条件です。食生活が乱れて
 いませんか。インスタントな食事、スナッ
 ク菓子で空腹を満たしているようでは健康
 でたくましいからだ作りはできません。

三つは、適度な運動をすることです。便
 利な文化生活は、人間を横着にし動きを鈍
 らせることがあります。つまみ食いしてゴ
 ロゴロしていれば、その結果がどうなるか
 は自明の理です。毎日二十分は汗をかく運
 動を続けることが大切です。

「人間は、自然から遠ざかるほど病気が
 近づいてくる」といわれます。いま、子ど
 も達がおかれている都市型文化生活は健康

に大切な自然環境からかなり離れた生活に
 なっています。

文明病の一つと思われる小児成人病と
 いうことばを最近よく耳にします。肥満、
 高脂血症、高血圧、糖尿病など子ども達の
 からだが危険信号を発しています。このよ
 うな状況を家庭も学校もしっかり認識し、
 相互に連携し補充し合いながら健康教育の
 推進をはからなければならぬと思います。



杉並区には中学校区を単位に地域教育懇
 談会というものが、学校、家庭、地域
 で子どもの教育に関わりをもつ方々が集ま
 ってあらゆる角度から教育の問題について
 意見を交換し子どもの健全育成のために努
 力を払われています。

今回は、この懇談会の会長を努めておら
 れる杉並区立東原中学校長・青木尚次先生
 にお願いをして、子どもからの健康の
 問題についてご執筆をいただきました。皆
 さまからのご意見・ご感想をお待ちしてお
 ります。

聖友学園長 梅澤文治

ふわ

ふわ

『ほっぺがぽおっ』

応援団長のあの子を見ると

ほっぺがぽおっと赤くなる

あの子のがんばっているすがたをみると

ほっぺがぽおっと赤くなる。

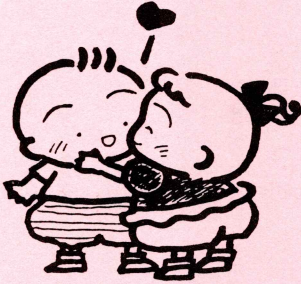
あの子をみると

まじめにみえないまた

ほっぺがぽおっ

わたしやっぱりあの子と友達になりたいな。

飛美



ある日のできごと

『ひろくんの探険』

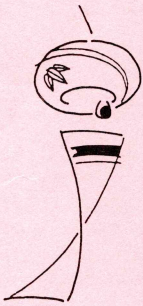
「ただいまー。」

「ただいまー。」

と、次々に皆帰ってくる夕食前、今まで部屋にいたひろくんの姿が急に見当たらない。ひろくんは、入所してまだ数日の3才の男の子。トイレ、押し入れ、部屋中さがしてもどこにも居ない。皆んなでさがしまわっている頃、ひろくんは新しい世界の探険のつもりか、学園の裏通りをひょこひょこ歩いていたらそうだ。たまたま通りかかった近所の御婦人に「パパ！」と声をかけたことが幸いして、無事学園に戻って来たひろくん。誰にでも「パパ！」と呼びかけるひろくんなのである。

『電信柱さん こんにちは』

4月から小学一年生になった智夫くんは、期待に胸ふくらませ、たくさんの友達ができるといいなあと思っていました。その智夫くんが数日たつとさっそくたくさんの友達と近くの松山公園でボール投げをして遊ぶようになりました。友達が投げたボールをナイスキャッチ!!。しかし、よろよろとふらついて、ふり向いた瞬間、目の前に電信柱が……。 「電信柱さん、こんにちは!。」 ゴッソソ……!!色白な智夫くんの左頬には電信柱の保護カバーのプツプツが、真赤にプリントされてしまいました。その傷跡は数ヶ月たった今も、智夫くんの顔にまだ残っているのです。 早くなおるといいね。



このゆびとまれ

—感謝しています ボランティアの皆さん—

第二号に引き続き、このコーナーではボランティアの方々のご奉仕の状況をご紹介しますが、今回は、理髪と趣味の二つの分野の活動状況です。

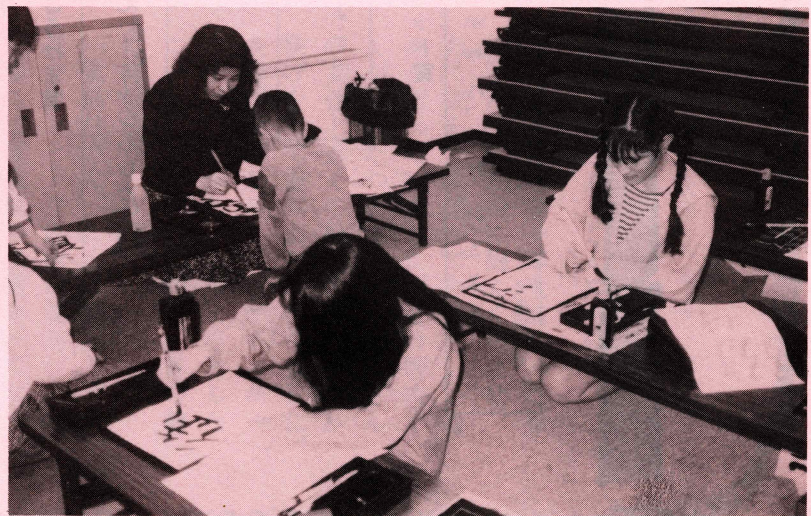
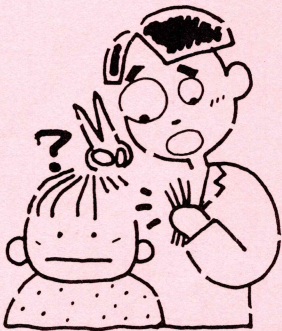
◇理髪

「ねえねえ、今度チョコキチョコキいつ行くの？」と、手をハサミ代わりにして髪を刈る真似をするのは三才の隆夫君。学園では理髪店に月に一回、十五人程の子どもたちがおじゃまして、整髪をしていただいています。その日の理髪店はまるで運動会の応援合戦の様相です。「お兄さん！」と、わがまま得意な小一の智太君。座るとすぐ熟睡体制に入る小二の雄人君。学園には色々なキャラクターが居るので、にぎやかなことにぎやかなこと……。

帰園後の夕食は、自然に会話も弾み、「ボクもお兄さんみたいになりたい！」という将来の理容師さんの卵？も出てきています。お兄さん達、本当にありがとう。

◇書道

鼻の頭や洋服をいつも墨で黒くしてくるのは、小二の浩介君。「浩介、顔や洋服に書くんじゃなく、半紙に書くんじゃよ?。」に、ニヤニヤ。まるでパンダのような顔で思わず吹き出してしまいます。しかし、初めはミミズ字？が多かった浩介君ではありましたが、学校で文字が上手になってきたと誉められ大喜びしています。現在、十一人の小・中学生がお世話になっており、書道指導中は、にぎやかな声が聞こえてきます。お正月には日頃の成果を發揮して、書き初めで腕をふるっています。



「このゆびとまれ」のコーナーではボランティアの皆様の活動を紹介していきたいと思っております。現在の社会情勢は目まぐるしく推移しており、それに伴わない子どもたちのニーズも様々に変化してきております。今後共、地域の皆様のお力を様々な形でお借りしたいと思っております。ご理解とご協力をお願いします。

店自慢コーナー

おみせやさん

三井精肉店



先代がJ.R阿佐

ケ谷駅北口より約十分位の当地旧中杉通り交友会商店

街に間口約三間程の店を独立開業して約四十四年余り、聖友学園様とは三十年以上のお付合をさせて頂き、いろいろな注文や期待に添うよう努力して参りました。

牛は近江牛をはじめとして、和牛専門販売で大好評を受けてます。豚肉は埼玉県入間市で黒豚を素にして小売店に合う豚の交配専門に五〇年の歴史を持つ問屋さんから仕入れをしています。

他にベーコン、ハム、ソーセイジ等の加工品と共に、お惣菜も全部昔ながらの手作りで、例えばサ

ラダ、シューマイ、角煮を始め、揚げ物はカツ、メンチカツ、から揚げ等、コロッケも特製コロッケ、コーンコロッケ等何種類も用意し、当店ならではの他に無い独自の味付けをし、催し物の会場や会合等の席にも納めさせて頂き大好評を得ています。

阿佐ケ谷にもスーパーが色々ありますが、まだまだ個人店舗でも良い面が沢山あります。

「肉の事なら安心して買物が出来る店作りを意識を持ってベストを尽し頑張っている。」それが肉の三井です。今後共宜しくお願い致します。

杉並区阿佐谷北3-10-12
電話 三三三八-三九二二

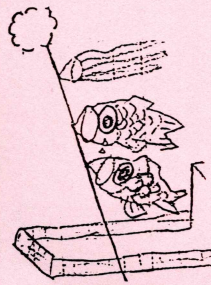
😊 学園よりひとこと

学園では、誕生日にはその子の大好きなメニューでお祝いします。ハンバーグや鳥のカラ揚げ等が多く、ハンバーグは7kgの挽肉を使用します。(一人平均約130g)。いつもニコニコやさしい三井さん。今後とも新鮮でおいしいお肉をよろしく願います。

学園行事より

こどもの日

五月のゴールデンウィークは、半分以上の子供達が家庭へ一時帰省し、家に帰れなかった子供達は職員と外出を楽しみました。屋上のこいのぼりだけが何だか淋しそうに留守番でした。



行事予定より

8月26日(木)夕方より、例年通り『お楽しみ会』を予定しています。たこ焼き、焼きそば等模擬店の準備もすすめておりますので、お子さんとご一緒にお気軽にお立ち寄り下さい。



学園の設備をお貸しします。

地域における児童の健全育成の推進を目的とする会合や催しに、当学園の会議室（15ノ20名程度収容）ホール、その他（ヤキソバ、タコ焼、かき氷の機械など）をお貸しします。

ご利用を希望なさる方は左記へご連絡下さい。

問い合わせ先

聖友学園 03(3338) 1844

皆様の寄稿を待っています。

当紙に地域のお店の皆様に参加していただくコーナーを設けております。

「こんな楽しいお店です」

「当店自慢のこの一品！」

など紹介されてはいかがでしょう。掲載を希望される方は左記へご連絡下さい。

問い合わせ先

聖友学園 03(3338) 1844

ありがとうございました。

今年度も次の皆様方よりたくさんのご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。

(敬称略)

(平成4年2月ノ平成4年5月)

△寄付金▽

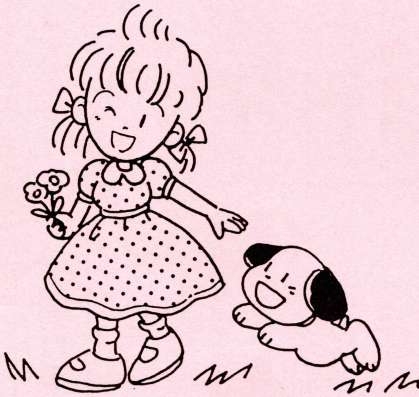
山崎知子、二宮徳子、末本昭子、貴志悦子、島田幹男、村上みき子、奥野玲子、黒岩武士、武田もと、溝口恵美、内山健三、中山和子、高田紘子、上田和子、高田みさ子、秋庭英子

△寄付物品▽

竹俣隆・初枝、田中幸子、太陽杉の子会、内田裕子、キリンビール㈱、ムーンバット㈱、高橋昭雄、梅沢武生劇団

△招待▽

三菱商事㈱社会環境室(春の自然教室)、武尊ロッジペンション協会・古事記倶楽部(フレンドシップスキー)、トーチクハム(㈱営業部(プロ野球)、財日本民生文化協会(ミュージカル)



…ねがいごとが かないますように…
七夕の笹を焼やしました。

編集後記

先日、学園のびーち(桃の木)で大きなやもりを子供が見つけて大さわぎ。「やもりは家を守ってくれる神様だから、いたずらしないように」と言うのと、何を考えたのか、皆手を合わせて、やもりにお祈りを始めました。その純粋な気持ちを忘れずに成長を願う今日この頃。